

演題名 当院職員健診データからみたLDLコレステロールの検討

氏名 高木 義弘

所属 静岡県立こども病院 臨床病理科

【目的】

今年度から始まった特定健診に伴い、当院の職員健診の測定項目が総コレステロールに代わりLDLコレステロールの実測となった。

しかし今回、初年度でもあり、従来のデータとの比較が出来るよう、脂質検査については、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロールの4項目の実測を行った。

LDLコレステロールの結果について若干の知見を得たので報告する。

【方法】

採血当日に他の項目と同時に測定した。尚、各項目の測定試薬は、中性脂肪(積水メディカル、オートセラS TG-N)、総コレステロール(協和メテックス、テタミナーL TC II)、HDLコレステロール(協和メテックス、テタミナーL HDL-C)、LDLコレステロール(積水メディカル、コレステストLDL)をもちいた。

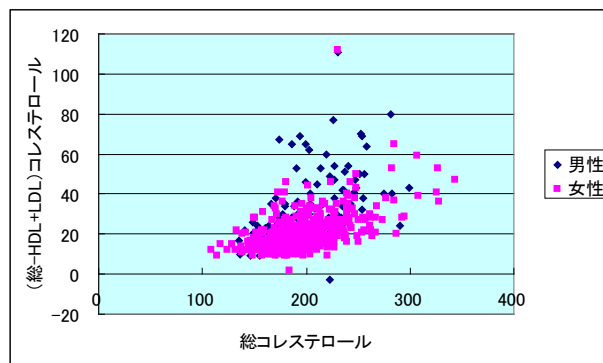
実測結果より、Friedewaldの式(以下、F式) ($LDL-C = TCHO - HDL - C - (TG/5)$)よりF式LDLコレステロール値を求め、実測値との比較をみた。

【結果】

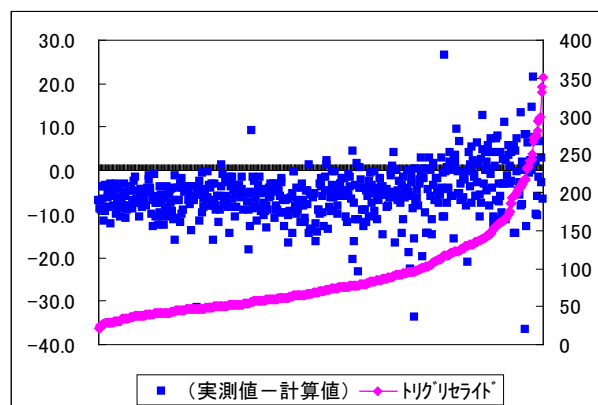
男性149名、女性427名、計576名の測定を行った。年齢分布は、22~30才39.9%、31~40才28.5%、41~50才17.9%、51~60才13%、61才以上0.7%であった。性別では、男性は31~40才が36.9%、次に21~30才25.5%、女性では21~30才が45%、31~40才が25.5%と逆転していた。

各項目の全例の平均値±標準偏差は、中性脂肪(男性 130.3 ± 118.0 、女性 78.6 ± 49.8 mg/dl)、総コレステロール (198.1 ± 33.2 、 197.7 ± 35.2 mg/dl)、HDLコレステロール (61.4 ± 16.4 、 76.5 ± 17.4 mg/dl)、LDLコレステロール (107.0 ± 27.0 、 100.2 ± 29.9 mg/dl)であった。

総コレステロールからHDLとLDLコレステロールを引いたところ、1例だけ負の値(-3mg/dl)となった。本例は、60才男性でAST30IU/L、ALT29IU/L、GGTP67IU/L、総コレステロール223mg/dl、HDLコレステロール77mg/dl、LDLコレステロール149mg/dl、F式LDLコレステロール123mg/dlであった。横軸に総コレステロール、縦軸に引いた値の分布図を下記に示す。



LDLコレステロールについて、実測値とF式LDLコレステロールの差と中性脂肪の差を比較したが、中性脂肪値に依存しないバラツキがみられた。



【結語】

今年度、初めて職員健診でLDLコレステロールの実測を行い、F式LDLコレステロールと比較したところ、様々な挙動がみられた。